

○11番 宮木龍嗣議員。

中京中学校3年、宮木龍嗣です。私は、行橋市の産業を生かしたイベントが多くできないかについて、質問します。

行橋市には水産業をはじめ多くの産業があると思います。それらの産業を生かしたイベントをたくさんやってもらいたいと考えていますが、現在、行橋では、どのようなイベントをしていますか。

○前半議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

宮木議員のご質問にお答えいたします。

まず、行橋市では、水産業をはじめ、農業、林業、商工業など多くの産業が存在しておりまして、代表的なイベントとしましては、そういったものを市民の皆さん方に広くPRするために、大体11月に行橋産業祭といったものを行っております。葦島、今井の総合公園を中心にさせていただいております。

そういったところで地元企業がPRをするブースを設けたり、それから特産品、例えば牡蠣汁なんかも産業祭でふるまってから、そこから牡蠣の販売が本格的になされるわけですが、そういったかたちで地場産品をPRしたりする、そういった産業祭といったものを行っております。

その他にも市主導あるいは民間、市民の皆様方主導といったかたち、あるいは協力するようなかたちで、お魚フェアや、かきフェスタ、それから菜の花まつりやスイーツフェスタ、そういったものも街中で行われたりしております。

また例えばシーサイドハーフマラソンが大体例年1月に行われますけれども、こういった所でも牡蠣汁をふるまったり、地場産品を地元の特産物を市外から見えた方々にPRしたり買っていただく、そういった場などもつくっております。以上です。

○前半議長 龍山咲良君

宮木議員。

○11番 宮木龍嗣議員。

各産業で様々なイベントが行われていると聞きましたが、今よりもっと良いものにし、それらのイベントを通じて行橋をさらに活発化してもらいたいと思います。

またイベント情報をインターネット等で調べてもうまく見つけられないと感じています。もっと市民の方がイベント情報を入手しやすいようにできないでしょうか。

○前半議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。まず、これはPRの仕方、皆さん方への伝え方といったところに、まだまだ課題があるのかなというふうに思っております。

まず前市政のときに、それこそ、この子ども議会で、この中にもいらっしゃるかな、ホームページをまずリニューアルしてほしい、といったご意見がありました。要はもっと分かりやすく、見やすく、そして市民の皆さんに活用していただけるようなホームページに、ということなんですけれども、いま行橋市、それを受けて、ことしの2月からホームページをリニューアルしまして、以前のホームページよりかなり明るくなった、使いやすくなった、見やすくなったということで、ご好評をいただいております。

その中で、例えば大体検索で、行橋 スペース イベント、というかたちで検索していただければ、行橋市のホームページなんかにもたどり着きまして、そこで大体、行橋 スペース イベントと入れると、行橋の観光協会のホームページか、もしくは行橋市のカレンダーで探すという所に行きつくんです。大体観光協会のホームページか市のホームページのカレンダーで探すという所を見ていただくと、何月何日にこういったイベントがありますよということを見ていただけます。

また行橋市、LINEのいま登録者数、先ほども申し上げたんですが、2万3千人近くの方々が登録していただいているんですね、行橋市の公式LINE、これに登録していただいて、自分が関心のある項目にチェックをする。例えばイベント情報にチェックを入れていただくと、定期的に何かイベントがあるときに、そのイベント情報が届くようになっています。

そういったところもぜひご活用いただきたいと思いますが、いずれにしても、そういったことがあるよというところが、まずなかなか伝わっていないという現状があると思いますので、きょういただいたご意見を踏まえて、改めてどこにどういった情報がありますよということを、市民の皆さん方にもまた周知したいと思っております。

それからもう一つ、やはり市民の皆さんや企業さんも含め、様々なイベント、特にコロナが5類に下がって、イベントが本格化してくるわけですけれども、市民の皆さん方のイベントを、まだまだ我々も、その情報を拾いきれていない、あるいは分かっているけどもより魅力的にPRすることができていないということは、正直感じています。

またYouTubeも活用すればいいんですけれども、我々行橋市としては、まだまだYouTubeを本格的に活用できておりません。そういったと

ころで、まだまだ伸びしろがあるというふうに思っていますので、きょういただいたご意見を踏まえながら、特に大体ここに並んでいる人たちは、ティックトックなんかは苦手な世代です。私も苦手です。きょう木下議員からもお話がありましたけれども、生徒会の皆さんが集う場、あるいはそれは生徒会でなくてもいいのかもしれませんが。若い世代の皆さん方が集って、それこそきょうお集まりの議員の皆さん方が、また改めて集うような場面をつくって、じゃあきょうはこのテーマについて話してみようとか、そういったところで街中を活性化するためにもPRの手段、どういったかたちでPRすれば、より若い世代も含めた市民の皆さん方に広報することができるのか、そういったところをぜひ一緒に考えていただければ、私としてもありがたいなと思います。以上です。

○前半議長 龍山咲良君

宮木議員。

○11番 宮木龍嗣議員。

ありがとうございました。以上で質問を終わります。